

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

柏里小	学校
-----	----

児童数	52
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.85	22.62	32.52	44.62	53.81	9.20	156.76	25.19	57.40
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.33	19.79	35.50	40.12	34.54	9.95	136.52	10.81	53.40
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

体力・運動能力の調査項目の結果から、男子は8種目のうち7種目が全国平均を上回り、「長座体前屈」は大阪市平均より下回っていた。女子は「上体起こし」「反復横とび」が全国平均を上回り、「握力」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」が大阪市平均を下回っていた。体力合計点については、男子は全国平均及び大阪市平均を上回り、女子は大阪市平均は上回っていたが全国平均より下回っていた。

児童質問紙調査の「運動やスポーツをすることは好きですか。」の質問に対する肯定的な回答については、男子が100%（全国平均93.4%）で女子が85.2%（全国平均85.8%）であった。

1週間の総運動時間が60分未満の児童は、男子が14.2%で女子が30.7%であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では「1日1回以上運動場で遊んだり運動したりする」ということを目標にしている。学級担任が運動場に出て遊ぶことを呼びかけたり、休み時間に学級遊びに取り組んだり、児童が外に出て運動する機会を増やしてきた。また、寒くなる時期には「なわとびタイム」や「かけ足タイム」などの運動週間を設定した。なわとびの技が紹介されているカードや、運動場を走った周回の数だけ色を塗り進めるカードを活用し、児童が楽しみながら運動に取り組めるよう工夫した。運動委員会の企画で、なわとび大会を実施したところ、自発的になわとびの練習に励むなど、運動に対する意欲の向上が見られた。しかし、どの取り組みもその期間が終わると、運動場に出る児童が減っていく傾向がある。年間を通して継続して運動に取り組む機会を確保していく必要がある。また、体育科の学習においても、児童が楽しみながら運動に取り組めるようにしていく。個々の能力に応じた段階的な課題を設定し、成功体験を味わわせられるようなスモールステップ化を意識した授業づくりを進めることで、運動への興味関心を高めていきたい。